

余呉湖のワカサギ不漁について

1. 経緯

余呉湖における令和 7 年シーズン(2025 年 11 月～2026 年 3 月)のワカサギの記録的不漁を受け、原因解明に向けた調査を実施している。

2. 考えられる主な不漁原因

- ・ 夏季の高水温や底層の貧酸素による減耗
- ・ 孵化仔魚の初期餌料の不足による減耗
- ・ 外来魚の食害

3. 調査計画

餌料、水温および貧酸素の状況把握のため、以下の調査を実施。

地点：余呉湖内 3 地点(図 1)

頻度：4～9 月は月 2 回、10～翌 3 月は月 1 回

項目：水温、溶存酸素(DO)、動物プランクトン密度



図 1 余呉湖調査地点

4. 水温・DO(6 月 19 日時点)

水温は月を追うごとに上昇し、6 月には深度 7～8m に水温躍層が形成された。DO は深層ほど低くなる傾向が見られ、6 月には深度 8m 以深でほぼ無酸素の状態となっていた(図 2)。

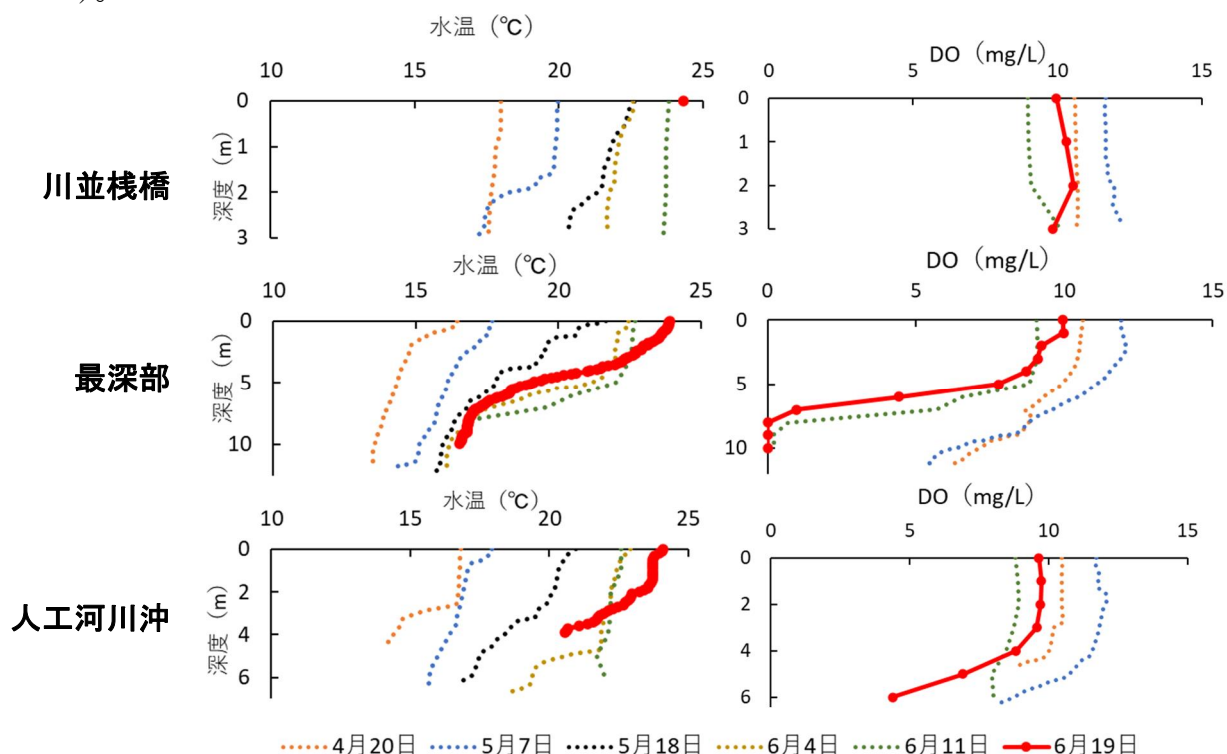


図 2 各調査地点、深度における水温と DO ※5 月 18 日、6 月 4 日の DO は欠測

5. 動物プランクトン密度(6月19日時点)

ワカサギの餌料となる動物プランクトンは、場所や時期、種類により増減が見られるものの、調査期間中においては深刻な餌不足の状況にはないものと見ている(図3)。

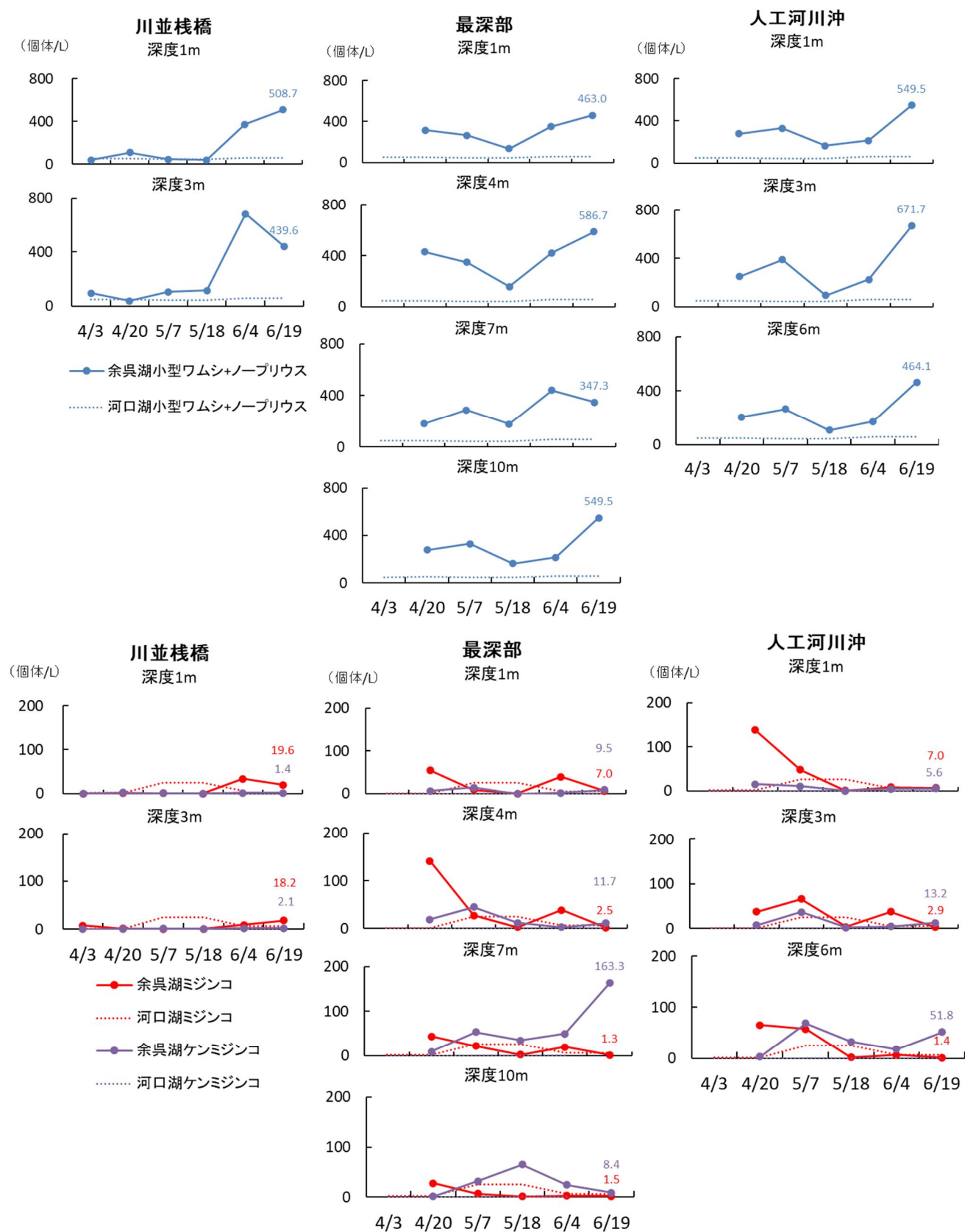


図3 動物プランクトンの生息密度の推移